



# 磐二小だより

磐梯町立磐梯第二小学校  
令和4年10月6日  
第 12 号  
発行責任者 近野 典男

☆教育目標「自己を拓き、共に生きる、健康で品性の高い子ども」

○自分から学びます ○共に磨きます ○互いに鍛えます

【スローガン】キラキラとひとみが輝く二小の子ども

## PTA奉仕作業 ご協力ありがとうございました

10月2日(日)のPTA奉仕作業では、早朝より多くの保護者の皆様にご参加いただき、誠にありがとうございました。

今年度は、草刈り機を準備できる方には持参していただき、体育館北側だけでなく、校庭の土手等の草刈り払いをお願いしました。作業の必要な場所が広いだけでなく、多くが斜面なので大変だったかと思いますが、たくさんの保護者の皆様にご協力いただき、あっという間にきれいになりました。

また、手作業による除草もお願いしました。校庭に降りる階段や校庭前通路、花壇等、細部にまで気付いて除草していただいたおかげで、とてもきれいになりました。見た目の美しさはもちろんですが、安全面としてもとても大切な整備をしていただきました。

もともときれいなづくりの学校ではありますが、それを「きれいに使うこと」の大切を、今回の保護者の皆様のお姿から子どもたちもきっと感じる事ができたと思います。環境整備を通して込めていただいた保護者の皆様の思いを子どもたちと共有しながら、教育活動をさらに充実させていきたいと思っております。ありがとうございました。



## 未来の磐梯町を思い…



9月26日(月)に「私の主張」審査会が行われ、二小からも代表となった3人が堂々と発表しました。

岩手県での植樹祭に参加したことをきっかけに考え、未来の磐梯町が自然が豊かな町であるようにと主張した6年I. Mさん。海のゴミ問題に着目し、一人一人がどのようなことに気を付けるべきかと主張した6年E. Mさん。

磐梯町は自然と暮らしやすさを共存させることができる町であり、自分も力になりたいと主張した5年K. Aさん。3人ともよく考えられた構成であるとともに、張りのある声で聞き手に訴えかける話し方ができ、すばらしい発表でした。

参加した9名それぞれの発表者も瑞々しい感性で表現できていました。子どもなりに真剣に考えた提案に、会場にいた誰もが「磐梯町の未来は明るい!」と、頼もしさを感じたに違いありません。

※ 審査の結果、5年K. Aさんが小学校の最優秀賞に選ばれました。発表原稿が磐梯弘報に掲載されるとのことです。

## 秋の交通安全運動期間の交通指導ありがとうございました



9月21日(水)～28日(水)は、秋の交通安全運動期間となっております。この期間、多くの保護者の皆様に交通指導のご協力をいただきましたこと、感謝申し上げます。

また、見守り隊の皆様はもちろん、交通安全母の会や磐梯町役場、地域の皆様にもご協力いただきました。重ねて感謝申し上げます。

横断時の安全確認だけでなく、子どもたちにたくさんの言葉がけをしていただきました。地域のみんなで大切な子どもたちを育てるといった雰囲気が、「さすが磐梯町」と感じます。

こうしてたくさんの人々が子どもたちの安全を願ってくださっていることについて学校でも話題にしていくとともに、子どもたちにも自分の身を守ることができるよう、しっかり考えて行動できる力を育てていきたいと思えます。

## 二小児童大活躍

前号で合奏部の快挙についてお伝えしましたが、この実りの秋に二小児童が各種コンクール等で続々活躍していますので、一部となりますがここで紹介します。

<b>令和4年度北会地区読書感想文コンクール</b> 特選 1年 E. M (県出品)	
<b>第44回会津若松地方広域消防本部防火ポスター展</b> 特別賞(東北電力株式会社会津若松支社長賞) 6年 S. Y	
<b>令和4年度校内水泳記録会</b> 新記録 3年女子25m背泳ぎ A. A (26秒5) 新記録 2年男子25m自由形 S. S (27秒6)	
<b>第29回磐梯町小学校水泳交歓会</b> ※今年度は感染防止対策のため、各校の記録を基にしたタイムレースとして開催 新記録 5年女子25m自由形 T. R (19秒15) 新記録 5年女子25m背泳ぎ T. R (24秒98)	

## ちょっといい話 20



今年度も、ふれあいセンタープールの皆様にはたくさんお世話になりながら、無事水遊び・水泳の学習を終えました。そして、いつもあたたかく見守ってくださった皆様へ、児童一人一人がお礼の手紙を書き、1枚の模造紙にまとめて9月29日(木)にお渡ししてきました。

手紙には目標を達成できた喜びや来年がんばりたいことなどが記されていました。読んでいて嬉しかったのが、子どもたちの字が丁寧だったことです。普段書いている以上に時間をかけ、その子なりに一文字一文字心を込めて書こうとしていた気持ち伝わってきました。

ICTの積極的活用を進めている本校ではありますが、こういった手書きのよさも大切に指導している教職員を頼もしく思うと同時に、しっかりそれを表現できていた子どもたちに改めて感心しました。